

現代においては、陸路による流通が当たり前であるため、関西広域連合の一員である徳島ではあるが、海で隔たりのある近畿圏との距離感是否めない。しかし、水上交通が主要な流通の手段であった近世以前においては、紀伊水道に面する徳島と大阪や兵庫、和歌山は海で繋がる隣地であった。そのため、この地域には人的、経済的、文化的な面での密接な交流があり、共通する特有の世界があったことが考えられる。

今年度の勝瑞学講座では、この仮説を考古学や文献史学、民俗学などの手法によって多角的に分析し、実態解明を試みる。

開催場所

## 藍住町総合文化 ホール 小ホール

受講料  
無料定員  
80人2024. **12.15**日 13:00-15:00

講座Ⅰ

13:00-14:00

紀伊水道をとりまく世界とは～問題提起

講師 石井 伸夫氏 [徳島県立鳥居龍蔵記念博物館]

第1回

講座Ⅱ

14:10-15:00

考古資料から見る紀伊水道をとりまく  
世界の様相

講師 重見 高博 [藍住町教育委員会社会教育課]

2025. **1.25**土 13:00-15:00

講座Ⅲ

13:00-14:00

文献史学から見る紀伊水道をとりまく  
世界の様相

講師 長谷川 賢二氏 [徳島県立博物館]

第2回

講座Ⅳ

14:10-15:00

紀伊水道に面した阿波の港の諸相～徳島・滑津

講師 石尾 和仁氏 [佐那河内村学芸監]

2025. **2.8**土 13:00-15:00

講座Ⅴ

13:00-14:00

民俗学から見る紀伊水道をとりまく  
世界の様相

講師 磯本 宏紀氏 [徳島県立博物館]

第3回

講座Ⅵ

14:10-15:00

紀伊水道に面した阿波の港の諸相～港町・橘

講師 向井 公紀氏 [阿南市文化振興課]

2025. **3.15**土 13:00-17:00 ～勝瑞城シンポジウム～

講座Ⅶ

13:00-13:50

紀伊水道に面した阿波の港の諸相  
～小松島ラグーンと中湖

講師 岡本 和彦氏 [小松島市教育委員会]

第4回

講座Ⅷ

14:00-15:00

和歌山から見た紀伊水道をとりまく  
世界の様相

講師 北野 隆亮氏 [和歌山市和歌山城整備企画課]

ディスカッション

15:10-16:30

コーディネーター 石井 伸夫氏

パネラー 岡本 和彦氏、北野 隆亮氏、長谷川 賢二氏、  
向井 公紀氏、重見 高博